

新学期

からす新聞

第12号

である。一年は短い。からす新聞だって創刊してからもう一年経ってしまったのである。本紙が一年もつことを誰が予想しただろうか。われわれの力である。何事も最後に頼りになるのは自分だけである。君たちも自分の目標に向かって**邁進**してくれたまえ。

発行所 東京都中野区中央5丁目1番2号西田ビル4階 〒164-0011 からす新聞本社 電話03-3382-5963 ©からす新聞本社
からすホームページ <http://www.go-karasu.com/> 投書・お問い合わせのE-mail : colors@go-karasu.com

様々なもののデジタル化が進んでいる。コンピュータ依存症候群の私は、勿論、大きにその恩恵に浴しているわけだ。コンピュータなくしては、私の生活は困難になってしまふそのこと自体、困った問題だが、たろうから。音楽のような本質的にアナログなものであっても、録音再生の過程ではデジタル化されていることが殆どだし、実際、音楽を聴くのも作るのも、現代ではデジタル技術に依存している割合は高い。印刷物も(あなたがいま目にしているこの新聞だって)、テレビや映画の映像処理や、電話でさえもデジタル化が進んでいる。あなたが直接的には意識できないようなところで、確実に世界は変わってきているのである。

メリットとしては、劣化のしにくさが第一にあげられよう。永遠に色褪せない写真、何回ダビングしても録音時の状態を保てる音楽。また、細分化されているので高速に処理できるというのも大きな利点である。世の中を眺める限り、デジタル化の波の勢いはますます盛んになる一方のようである。

CDが一般庶民の手に届いたのはいつ頃のことだっただろうか。生徒たちの多くは直接的にはレコードというものを知らずに育ってきた世代である。

レコードって、一体どんなものだったのか、君たちにちよつと教えよう。

枚数が溜まってくると置き場所に困るような、普通の本棚には収まらないような、大きなサイズ(直径約30センチ)。丁寧に扱わないと、傷がついて針飛びしたり、埃がたまってノイズが乗ったり、放っておくと霉が生えたりしたものが、歪んで聞けなくなったりすることだってあった。クラシックのように強弱の著しい音楽では、小さい部分はノイズに埋もれて聞けたもんじゃなかった。LP(LONG PLAY)って言ったって、片面には二〇分程度しか入らない。そんなものだった。

にもかかわらず、私は、CDが豪華な宣伝文句を携えて華やかに登場してきたときにも、飛びつくことができなかった、今以上に音楽フリークだったにもかかわらず。値段が安くはなかった、という単純な問題もあるが、それ以上に、大きな疑問が頭の中を渦巻いていたからだ。

デジタルというのは、乱暴に言うならば、要するに、滑らかな坂道を階段に置き換えようとする作業である。例えば、一段が十五センチならば誰も階段だと意識する。では、一段が一センチだったとどうだろうか。それをあなたは階段と呼ぶだろうか。あるいは、一ミリだったら、〇・一ミ

(八面に続く)

からす新聞は学習塾カラーズ

が母体となつて、世界に文化と芸術を発信すべく発行している新聞です。

誰でも自由に参加できます(無茶しやない範囲で)。

今日の紙面

- 二面(オラ面)
松本と話そう。ピン、ボン、パン
- 三面(芸術面)
レイズ・ギャラリー
- 四面(アメリカンレポート)
ヤンヒボ
- 五面(語面)
みんなの詩
- 六面(教養・トピックス)
八幡堀井の法律教室



松本と話そう。ピン、ポン、パン

それにしてもひどい。先日、アメリカ・コロラド州の高校での銃乱射事件。有色人種や、目立ったスポーツ選手らが主な標的にされたという。しかも、その殺害法も想像を絶するもので、女子生徒の首に銃口をあて、ふざけた言葉で焦らしたあと発砲したり、ニガ-と叫んで顔面に発砲したりしていたらしい。13人が射殺され20人以上が負傷したとのことだ。犯人2人は犯行後、自殺。因みにその2人はその生徒であるという。

動機は今のところ解明されていないが、彼等は日本にも必ずいる、いわゆる[オタク系]の湿度の高い男子生徒で、アドルフ・ヒットラ-を賞賛するような言動をみせたり、自らを[トレンチコ-ト・マフィア]などと呼称しサバイバルゲームをやったりして、周囲には不気味がられたり、蔑まれたりしていたらしい。日本流にいうなら、“うぜ-んだよ。”と鼻にもかけられないようなさえない連中辺りだろう。そしてそのことを根に持つての、なんともみっともない犯行である可能性が高いらしい。

それにしてもひどい。NATOである。ユ-ゴスラビアへの空爆から1ヶ月以上経過したが彼等の意図はなんら果たされていない。むしろ、火に油を注いだようなもので、事態は最悪に向かおうとさえしている。

彼等は、ミロシェビッチ・ユ-ゴ大統領ら政府側のユ-ゴ国内のコソボ州内のアルバニア系住民への政治的圧力を阻止を目的に、空爆という手段に訴えた。が、果たしてもたらされた事態は、政治学に全くの素人にも予測がつくものであった。その政治的圧力の激化である。虐待、虐殺のエスカレ-ション、さらには、強制国外追放である。

周辺国で難民として生きながらえている数十万もの人のテレビニュースでの痛々しい姿を見ない日はない。

それだけではない。NATO軍機による空爆で、どうやらかなりの誤爆が生じてしまうという事態にも至っている。ユ-ゴ側から突き付けられた証拠としての映像を後手にまわってNATO側が渋々認めているのが現状で、だとすれば、そうでないものが多数、他にあるだろうということは当然、考えられることで、ならば空爆による一般市民の犠牲者は計り知れない程の数になっているはずなのである。

今世紀はテクノロジーの世紀といわれる。だれが人間が月に行こうなど予測しただろうか。だれが地球の一部である人間による、地球の生命体を瞬時にして滅亡させるほどの兵器の完成とその量産を予測しただろうか。

もっと身近なところで更に小さな単位で述べるならば、15年前、高校生だった自分は、たとえば衛星放送や、カ-ナビ、インターネット、携帯電話、などのこれほどまでの普及を予測していただろうか。

そして、先の話の脈絡から述べるならば、だれが子供でも大量殺りくが可能な高性能小型銃器の開発と普及を予測しただろうか。だれが数千口、いや、数十、数百口離れた地点から誤差数メートル 数十メートルの範囲内で、人間の血や肉が飛び散ったり、苦悶で顔が歪んだりする様をじかに感知することなく爆撃する戦争を予測しただろうか。

その一方で、だれが体裁だのプライドだの民族、宗教の差だのといったところに起因する憎悪によって、相も変わらず安易に殺りくを繰り返している100年前と、いや1000年前と同じ未来を予測しただろうか。

肥満体の人間の心臓がその体の規模に付いていけず麻痺してしまつて、ついにはその両者共に死に至るように、今の我々人間もハードの部分の肥大化にソフトの部分がかまるで付いてきてなく、ついには死を迎えるのかもしれない。

不自然であるということは、自然、つまりは地球、つまりは宇宙の理に適合していないということであり、或る一部の人の言葉を拝借するならば、神の思し召しに反しているということであり、生命体として存在しうるわけがないのは至極当然のことである。

どうやら、『2001年宇宙の旅』ではないが、人類は武器を手にした瞬間から終末への旅へと向かい、そろそろその終着地に歩を踏み入れようとしている、そんな気がしてならない。

いいんだ。終わりは始まりなんだから。もう1回、再起動させたほうがいいのかもかもしれない。

中國料理

コウ テン エン
廣天園
 コウ コウ エン
裕香園

好吃好香



Ken-ichi Shinozaki, architect

5-12-3 Asagaya-Kita, Suginami-ku, Tokyo,
 Telephone & Facsimile: 81-3-3223-0456;
 e-mail: geta-s@t3.rim.or.jp

篠崎健一アトリエ

Rei's Gallerly



ヤンヒポのなにになになあに？

よく米国の食事はあまり美味くないと言われる事が多い。確かに日本に比べて食材も豊富だとは思わないし、その事についても否定する気は無い。では自分は毎日まずい物ばかり食べていたのだろうか。自分が一番食べているのはやはりホットドッグだ。前にもどこかに書いた気がするが、自分の住んでいるアパートの並びにあるJackeyというハンバーガー屋はアラブ系の太ったオバちゃんがやっていて正しく映画に出てきそうな気さくな店主だ。そのオバちゃんの亭主というのがこれまた、映画に出てきそうな風体でマフィアのボスという感じだ。因に亭主の方は店の奥でいつも寝ている。たまにオバちゃんが居ないと店番をしているぐらいだ。店は大体間口一間半ぐらいで右手側にキッチンとショーケース、レジが有り、残りのスペースは丸いプラスチックのテーブルが3つと同じくプラスチックのイスが3つずつそれぞれの机に置いてあるだけだ。その店のメニューはホットドッグの他にターキーサンドやサラダサンド、ツナサラダなども有る。ショーケースの中には砂糖たっぷりのドーナッツや何故かカップラーメンが置いて有る。カップラーメンの文字はハンゲル文字だ。

普通、L.A.でホットドッグを頼むといわゆるブレンドッグという、長細くて柔らかいパンを縦に切り身を入れてそこに長めのブレンなソーセージを挟んでケチャップとピクルスだけ挟んで有る物を言う。正直、これは味も素っ気も無い。よく屋台でもこの手を売っている。しかしJackeyのホットドッグは一味違う。20センチ程のフランスパンを横から開き、その間にキャベツ、オニオン、トマト、半分に割った粒入りポークリンクソーセージ、ハラペーニョと言われるピクルスの目茶目茶辛い版、辛めのマスタードを加えて上からズボンプレスーみたいなグリルで押さえつけて焼く。あんなに具だくさんなホットドッグは日本でもそう無い。値段はメディアムコーヒーと一緒に2ドル40セント。日本円にすると300円弱だろう。これを見てもアメリカの食料価格がいかに日本よりリーズナブルか解る。さて問題の味だが、やはりここまで書いてき

てズイマな訳が無い。シンプルな食べ物は構成要素が少ないだけにウマイと感じるかどうかだけがポイントになる。多分、日本で食べても十分な評価を得られるはずだ。

少し余談になるが、その店はアラブ系アメリカ人のたまり場になっている。店の旦那も前述の通りアラブ系の面立ちに深いしわを幾重にも刻んだ額を持っている。背丈は165センチぐらいカップクが良く黒のキャデラック2ドア、屋根は黒の革張りを乗り回している。町で見かけたら絶対に近寄らないタイプの男だ。実際仕事は何をやっているかは解らない。米国は身障者のケアが日本より断然進んでいて、駐車場も身障者用スペースがふんだんに用意されている。路上駐車スペースも身障者ならば駐禁は無い。そのキャデには何故か身障者ステッカーが装備されているのだが、どうみても夫婦共に元気そうである。当然店の前に堂々とキャデが鎮座しているのだ。

さて、料理というのは同じレシピでも作り手によって若干味が違う物だ。ホットドッグにしても同じである。たまに店のオバちゃんが居なくて旦那が一人でポツンと店番をしている事が有る。当然、毎日のように通っているので旦那とも馴染みになっている。「ホットドッグとメディアムコーヒーをくれ」というと、旦那がカウンターの中に入り調理を始める。米国人は割と好き嫌いがあるようで、どこへ行っても中身をどうするか聞かれる。自分の場合は決まって「Everything」と言う。するとその旦那は決まって「ハウ、ハウ」と犬の泣きまねの様な声とハンバーガーを食べる仕草で答える。「辛いのが好きなんだな」と言う意味のようだ。やっぱりお茶目な旦那で有る。で、出てくるホットドッグはとびきり辛いがオバちゃんより数段ウマイのであった。

今回はホットドッグの話だけになったが、米国にもウマイ物は有る。確かに日本の方が食に関しては豊かではあるが、米国でも楽しみ方は有るので有る。

All We Need Is Love

海辺の光景

若尾喜重

太陽が 東京に 接吻をしにやってくるとき
女性のスカートのすそが 太陽の光線で 燃えあ
がるとき
きまって 思いだす 海辺の光景
太平洋の波は もの静かで 物わかりが良く そ
れでいて無関心だ
失業中のわたしに 何も 語りかけない
海辺のさわめきは 全て モノローグで 白内障
のように かすんだ喉が かかっている
なんて 場違いなところへ来たんだろう
いつもの悔と 陥穽
わたしは 仲間の輪を そつと抜けだして まぶ
しい太陽の誘いをさけ 少しの陰を求め 顔に本
をのせ 寝たふりをする
仲良しの円陣を見ながら 海は 限りなくやさし
く微笑み 仲良し達を 永久に祝福してくれるの
ではないかと その時 疑わなかった
海は ときとして 鯨のように 大きな口を開け
て 何かを企んでいる
その企くらみが なんだあるかを わたしは知っ
ている
悪意さえもない 魯鈍な女は 今日には楽しかった
た? とは 聞かないで「今日は楽しかったで
しょ」と 高慢さを 押し付けた 嫌な後味を残
して

イリュージョン(幻覚)

佐藤良示

胸に突き刺す 銀色の針は
枯渇したる 大地への恵みの雨
身体を襲う 懶惰と逃避は
恍惚への道標
鏡に写りし顔 今日とは異常に鮮明に視える……!!
脂の輝く艶のあつた頬が尖り細く痩せこけて
茶毘に付す前の尻の如く硬直し、土色に錆びて
「噫：疲れた!!」と横臥し、睡眠りに陥ったと
思ったら、別の私が出てきてて、首首を持ちて
周回りを駆け疾走る。
嘲弄する雑踏の音、犬が嘶き猫が吠え
馬が喋る。
地平線は、凹凸に、陽は号泣いて、風は怒り
私は唾い転げる。
徐に近づく魍魎の世界からの使者
病める大地を闊歩せしエヒキュリアン……
怖める、母なるフュシスは、如何にたんぜん
なるべきや?
春のある日、雨上がりの路傍に佇み
水溜りに映りし街並みの景色を
視つめ乍ら……
私を通り過ぎていった幻覚!!



03-3220-4679
<http://go-zeta.com/>

パワフル スタッフ

現場作業員派遣いたします

株式会社ユナイテッドホームズ
160-0004 東京都新宿区四谷2-11
TEL 03 (3359) 3101
FAX 03 (3359) 3102
携帯 090 (4015) 6830
ゼネラルマネージャー鳥瀬悦拓

フランス女

原点シミュレーションその六

世界中どこに行っても共通の、コミュニケーションの原点と言える表現を各国に求めての旅もいよいよ佳境に入ってきました。たどり着いたのはフランス。今回は二人のフランス人女性に登場してもらいます。(望月)

あるフランス人女の証言

なによ、このタバコ。マイルドセブン? どうでもいいけど味が無いわね。えっ? 日本の? ふうん。でも、なんで英語なの? どうして日本語で名前付けないのかしら...

そのフランス人女の手記

ちょうどNATOがユーゴスラビアに空爆を始めた頃、大学で現代史を学んでいた私は、英語を学ぶためにイギリスの大学に留学中だった。やっぱり世界に出て仕事をするためには英語を身に付けておかなければならないから。

同じ教室にひとりの日本人青年がいた。彼はとても紳士で、お互い拙い英語だったけれど、いろんなことを語り合った。どうしたらコソボを始めとする民族紛争に終止符を打つことができるのか、私たちは次の世紀どこへ向かうのか。

もちろんヒロシマのことも話題になった。彼はやっぱり核兵器には絶対反対。私は、悲しいことだけれど、あの二つの爆弾が落とされなかったらもっと多くの日本人が犠牲になったのではないかと、そういう立場だった。核兵器の有効性を合理的に判断するのは難しいことだと思うけれど、感情的になることもなく、いい議論ができたと思う。

そのうち、私のアパートの近くや、通学するバスの中で時々東洋人らしき人物を見かけるようになったけれど、特に気に留めることもしなかった。今思えば、あれは彼だったのかも知れない。何か勘違いしたのかしら。あるとき冗談で「今度の休みにパリに帰るんだけど、私の家に遊びに来ない?」と言ってみるときの彼の目の輝きを思うと、「本当に行っていないの?」なんて訊くんで、

「ウイ、ウイ~(Oui, oui ~)」

‘oui’はフランス語の「はい」。もしも軽い調子で二度も繰り返しているようだと、信頼度も薄いと置いていいのかも知れません。というのはつまりこの場合、「家に来ない?」なんて言うのは単なる社交辞令だということです。

とつい言ってしまったのだった。本当に来るなんて思わなかったし、もし来たって別にいいや、そんな考えだった。彼には嘘の電話番号を教えた...

エクスキュゼ モワ(Excusez-moi.)

「ごめんなさい」。正確には「私を許して」。しかし、ひでえことするなあ。

あるフランス人マダム証言

そりゃああんた、うちの隣りのユダヤ人マダムのがめついたらないわよ。

そのフランス人マダムの手記

その頃世界はコソボ危機で騒がしいときでした。私は自分の母国フランスがNATO軍の一員になっていることに我慢がなりません。戦争によっては何も解決しない。私たちは何度もそのことを学んできたのではないのでしょうか。ナチスに奪われた私の夫の命は、何のためだったのでしょうか。ユダヤ人でもなかったのに。

そんなやりきれない気持ちでいたときに、あの日本人青年から電話が掛かったのです。核の痛みを知る国の人。知らない人だったけれど、今思えば、私は彼に何か救いを求めていたのかも知れませんが、独り暮らしの部屋に彼を招待したのでした。片言の英語でも、話は弾みました。

その話を切り出したのは私の方でした。「ヒロシマの国のあなたなら分かるわよね。今ユーゴで起こっていることは、まったくばかげてるわ」。すると、何と彼はこう答えたのです。「でも、原爆落としたから、あの戦争すんなり終わったんじゃないのかな?」

ノン!(Non!)

英語にも良く似ていますが、これはフランス語の「いいえ」。英語で話していても、怒ったらやっぱり出ますよね。しかしこの日本人青年、明らかに戦争体験者と見えるおばあちゃんに向かってのこの発言に、確信はあったのでしょうか。いずれにせよ大胆不敵です。

その後のことはあまり良く覚えていません。年がいきなり随分と騒ぎ立ててしまったようです。とにかくあんな人にはもう二度と会いたくありません。

アデュー(Adieu.)

「さようなら」。これは長期間あるいは二度と会わない相手に言う言葉。すぐ会う相手には、「オ ルヴォワール (Au revoir.)」・・・ではまた」

アクアネット
Let's mind the harbour!
湊文社
SOBUNSHA

交和パレイユ
Kowa Pareille
祝福の宴の演出を
してみないか。
03-3371-8264

中山歯科クリニック
診療時間.....AM9:00 ~ PM9:00
水曜・土曜AM9:00 ~ PM6:00
休診.....日・祭日
03-3381-1109

パパ堀井の法律教室

前回の問題の解答と解説です。問題は、

望月君がカラスモーターズからバイクを買ったのが一九歳のときだったとします。以下の各場合について、契約は追認されたことになるのでしょうか、それとも取り消されるのでしょうか？

いま望月君は一九歳である。

望月君に催告をしたが、催告期間中に成年に達することになったが、無回答だった。
法定代理人に催告をしたが、無回答だった。

望月君は二歳になった。

望月君に催告をしたが、無回答だった。
父親に催告をしたが、無回答だった。

というものでした。

(一面の続き)

りだったら、どうだろう。恐らく多くの人には、それを階段と呼びはしまい、段になっていることにさえ気づかない人が殆どではないだろう。そこそこが、デジタル化技術の本質なのである。悪く言えば、目眩(めまう)しなだけだ。我々の五感を欺く技術なのである。確かに、欺かれたところで、支障がなければそれはそれで構わない、というのも真実だ。より多くのメリットがあるのなら、何を悩む必要があるだろうか。

だが、当時の私には、そうは思えなかったのである。例えば、私がギターを抱えてがなる、としよう。声もギターから飛び出す音もアナログである。そして、それを聴く耳もやはりアナログである。つまり、歌や演奏を聴くという行為は、アナログなものをアナログなものに伝達する作業なのである。それをMDに録音して君の家で再生してみよう。なるほど、確かに遜色ないように思える。だが、実際のところ、如何に高度な技術を駆使して処理されるにせよ、デジタル化の作業で

【解答】

取消し 追認

追認 何も効果を生じない

【解説】

この場合、望月君はまだ未成年です。したがって、単独で完全に有効な法律行為を行うことはできません。しかし、この催告自体は有効です。つまり、望月君はこの催告に対して回答をすることは出来ませんが、「追認」や「催告」も法律行為ですから、それには当然、法定代理人の同意が必要になります。これは、特別ノ方式ヲ要スル行為ですから、「何もしないとき」には取消しということとなります。

本人が未成年の場合、「法定代理人に対して催告する」のが本来です。法定代理人は、原則として単独でこれに対して回答できませんから「例外もある」と「放っておく」と「追認」となります。

は確実に何か切り捨てられていくのである。私たちが、がしがしがやがやがとギターを掻きまわし、定かならぬ音程で怒鳴っていたものの幾許かは、絶対に消えてしまうのである。階段の途中にあるもの、あるいは、常識的な可聴領域の外にあるもの、そういう音たちは切り捨てられてしまっている。ああ、では、切り捨てられた私の歌はどこへ行ってしまったのか。

デジタル技術には至るところで世話になっている。今、この瞬間も、ペンではなく、コンピュータで原稿を書いている私である。現在の生活を一渡り流し見てみれば、デジタル様々というところ。デジタル技術を全て引き上げられたら、途方に暮れてしまっただろう。それほど、私たちはこの技術に依存している。

だが、しかし、それでも、忘れてはいけないものがある。私たちの心のことだ。心はアナログなのである。その上、時として不合理でさえあ

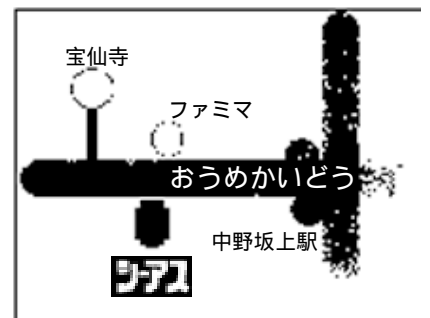
この場合は、と同じです。本人が成年に達している以上、特別の事情が無い限り行為能力者となり得ますから、単独で有効な法律行為追認(取消し)が出来ます。したがって、この催告を無視すれば「追認」となります。

この場合望月君は成年に達しており行為能力者ですから、父親は最早法定代理人ではありません。例えば親子でも法的には別人格ですから、この催告は法的には全く無意味なものです。したがって、何の効果も生じないのです。

Daddy's Law School

編集後記
からす新聞第十一号、無事、発行できました。新聞に限らず、これからも新企画目白押しなので、みなさんの御協力をお願いいたします。御意見・御要望をぜひお寄せ下さい。次号発刊予定日は四月二十五日です。編集協力者、特派員記者、及び、投稿を熱烈にお待ちしております。

1クラス4人までの少人数制学習塾
ウアズ
中野区本町2-50-12 ドエル中野201号
03 3370 1451



る。デジタル技術がどんなに進んでも、完全にアナログに取って代わることはない。感性や理性はすっきりと切断はできない、本質的にアナログなものである。だから、コンピュータより優れているとか劣っているとか、そういう比較をするつもりはない。ただ、そういうアナログな、曖昧な部分こそが、人間の、生命の、宇宙の本質をなすものである、ということだけは忘れないでいたいものだ。

最近では、生徒たちが、解答や言い訳に窮しても、もともと口籠る姿を見て、お、いいぞ、それが人間ってものなんだ、と、そんな気がする瞬間がなくもない。もちろん、すっきり答えてもらった方が楽なことが多いのだが。

いよいよ次号で
創刊一周年

